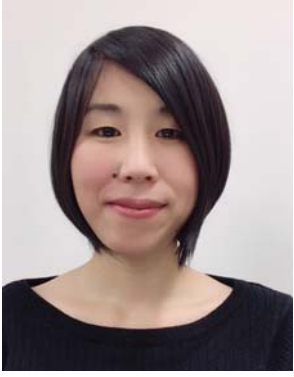






ふりがな 氏名	かたやま ゆみこ	都道府県	北海道	
	片山 裕美子			
所属/肩書	酪農学園大学大学院 修士課程			
私のESD活動	市民と取り組む外来種対策			
関心・活動のSDGs	   			

## 活動の概要

### 【外来種問題に関する環境教育】

札幌市では、ミシシippアカミガメやアメリカザリガニなどの外来種の生息数が増加傾向にある。私が所属する研究室では外来種に関する研究を行っており、その成果を環境教育にフィードバックしている。10年間の活動の中で、小学校～高校への定期的な出前講座や、一般市民向けのシンポジウムなどを北海道内各地で開催し、環境教育を通して生物多様性の保全に取り組んでいる。

2017年、2018年には札幌市円山動物園と共同で、夏休み期間に2週間にわたる外来種企画展を開催した。来場者が主体的に学べるよう展示に様々な工夫を凝らし、7500人以上の来場者に外来種の問題を伝えることができ、大きな反響を得た。

### 【札幌市まちなか生き物活動】

札幌市、NPO法人と協力し、札幌市内に生息するアメリカザリガニについて普及啓発の事業を行った。小学2年生の生活科の教科書では、身近な生物として外来種であるアメリカザリガニが取り上げられており、本事業では学校における持続可能な生物教材を用いた教育を検討するために、公共機関・民間・教育機関が連携した。小学生には野外での防除体験を実施し、学校の教員にはアメリカザリガニの代替種を検討するワークショップを開催し、幅広い層を巻き込んだ。

・「札幌市円山動物園 外来生物企画展」 <http://jairo.nii.ac.jp/0555/00004798/en>

・「札幌市まちなか生き物活動」 <http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/machinaka/29zarigani.html>

## 今後の活動の展望と周囲や社会への還元

### 【活動の発展】

私の所属する研究室では北海道内各地で環境教育を実践しているが、ESDに重点を置いた活動はまだ十分とはいえない。このコンファレンスで得た知見を研究室で共有し、地域住民と共に様々な課題に取り組んでいることを活かして、幅広い地域・年齢にESDの取り組みを広めていく。具体的には近隣の小学校やビジターセンターにてESDプログラムの出前講座や、一般市民向けのSDGsと野生動物に関する勉強会の開催を検討している。

### 【社会への還元】

私はESDに携わる仕事への就職を希望しており、大学院卒業後は仕事を通じて社会に還元していきたい。これまでの経験を通じて、研究者がESDに対しどのように貢献できるのか考え、研究機関と教育施設が連携した教育の仕組み作りに取り組むたいと考えている。また、より広くESDを社会に浸透させるためにはアウトリーチがもっとも重要だと考えており、自分が実践するだけでなく、ESDの実践者を増やすような活動を行っていく。